

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2013/07/15

Vol.41

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 25 年 第 2 回 印西市議会定例会報告 (3) ～ 印西市の「保育園待機児童問題」を語る (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 (6 月議会) は、6 月 21 日 (金) 迄の会期にて行われ、閉会しました。

6/14(金曜日)に一般質問に立ちました。

以下、市当局への質問と回答です。

2. 待機児童対策と子育て支援制度について

(3) 認可外保育園に対して、市は具体的にどのようなサポートができるのか。

【回答／健康福祉部長】今年の 10 月に千葉ニュータウン中央駅の南側に認可外保育園が新設される予定です。また、牧の原駅の南側にも認可外保育園があります。認可外保育園に対してのサポートにつきましては、保護者の負担軽減等、他市の状況を見ながら検討しているところです。

(ぐんじとしのりから再質問) 認可外保育施設への金銭的補助について、実施する意向はあるか？

【回答／健康福祉部長】 印西市内では、この認可外保育施設で 2 か所目となりますが、待機児童対策の観点から市といたしましては、補助等を現在検討しているところです。

(ぐんじとしのりから再質問) どの段階まで検討をし、どのくらいの補助を考えているのか。

【回答／健康福祉部長】 認可保育園との保育料の差や保育内容、他市町村の状況等を見ながら検討しているところです。

(ぐんじとしのりから皆様へ) 無認可保育園の助成金とは、地方自治体が定めた基準を満たした無認可保育園に子供を預けている保護者に対して支払われる保育料金の援助金のことを言います。

千葉県内では、船橋市、成田市、市原市、君津市が実施し、おおむね、以下のような条件の下に、補助を行なっているようです。

(無認可保育園の助成金をもらえる条件として = 他市の事例です。)

1. 対象となる子供が認可保育園に入所していないこと。
2. 保護者及び同居人が病気、介護状態や就労で、ご家庭で保育ができない時間や日にちがある一定期間あること。
3. 無認可保育園のある市区町村に居住し、尚且つ住民票があること。

また、今回の議会でも発言させていただきましたが、私は「市川市」の例を提示し、同じような対応をしてほしいということを伝えました。

* 市川市 = 簡易保育園保育料補助金について

市川市では、市川市・船橋市・松戸市・浦安市・鎌ヶ谷市・東京都葛飾区および江戸川区の認可外保育施設に入園しているお子さんの保護者へ補助金を交付しています。

「無認可保育園」とは言っても、認可保育園とは違った特色のある保育園や独自の保育理念に基づき努力されている保育園が印西市以外でも多数あります。

安全で安心できる施設ができて、印西市も補助を行い、待機児童の解消ができればいいと思っていますし、私自身も知恵をだしていきたいと思います。

このままでいけば。。。印西市の待機児童問題は今後、さらに深刻になることは必然で早急に対処が必要だと考えています。

申し込み多数のため、「会場変更」になったとのことです。

NT中央駅南口に10月に開園予定の「認可外保育園」

”Rainbow Wings International Nursery & Preschool”（現在、建物 建設中です。）

説明会への「参加申込」が多数あるとお聞きしています。現在、引き続いて受付中とのことです。

週5日（基本保育料） 9:00-16:00 （ ¥68,000 / 月 0-2歳児、 ¥78,000 / 月 3-5歳児 ）

入園説明会＝日時：7/13日（土）午前10時～

会場：東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス1号館 4F 遠隔メディア教室

詳細は・・・<http://rainbow-wings-i.com/informationplace.pdf>（説明会には申込 要）

建設工事が始まります。

【小倉すくすく保育園（認可保育園）】住所：印西市小倉字新田保673-1（大塚3丁目北西側）

保育園概要 木造2階建て 定員90名（0歳児～5歳児 各15名）

事業者：社会福祉法人 すくすくどろんこの会（野田市山崎）

工期：平成25年9月1日～平成26年2月15日・・・平成26年4月開園予定です。

議案審議とその結果

6月6日（木）に、「予算審査常任委員会」が開催されました。

（補正予算の概要）平成25年度印西市一般会計補正予算（第二号）

歳入歳出予算に 335,407千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 3,274,907千円とする。

（審査結果と今後について）委員全員一致で賛成し、本会議にて、委員会での審議を委員長から全議員に報告があり、最終的に本会議で審議にかけられ、採決されました。審査内容は多岐にわたりご紹介したい内容が多いのですが、今回は、補正予算で可決した事業をひとつだけご紹介します。

☆ 教育研究指導費 補正額 4,001千円の増額 = インクルーシブ教育システム構築モデル事業

* 事業は内野小学校で実施する。全額、国の補助事業です。4001千円の内訳（抜粋）は、
消耗品費 971千円 教材開発用ソフト他 / 備品購入費 2160千円 タブレットを購入
（24台（児童数）+3台（教員数））x80千円） = 備品購入に際しては一般競争入札。

【参考】 インクルーシブ教育システムとは何か？

障害のある児童・生徒に対する教育は、かつて「特殊教育」と呼ばれ、障害の種別に対応した教育を行うことが主流でした。しかし最近では、障害の重複化とともに、発達障害など軽度の障害も注目されるようになってきました。そこで、グレーゾーンも含めて、一人ひとりに必要な支援は何かという立場から教育を考えようということで目標に掲げたのが「インクルーシブな社会の構築」であり、そのための「インクルーシブ教育システム」です。インクルーシブ（inclusive）とは、「含んだ、いっさいを入れた、包括的な」という意味です。（障害者だからといって排除されたり、単なる保護の対象として扱われたりするだけでなく、健常者と同じ権利を持った主体として、社会の一員に含まれるような「共生社会」を目指そうというものです。）

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。（紙面の内容についてはお住まいのエリアにより、若干異なっております。）

市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。（随時更新しています）
市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく申し上げます。

ぐんじとしのり